

当初予算 (案)

一般会計 180億6,000万円

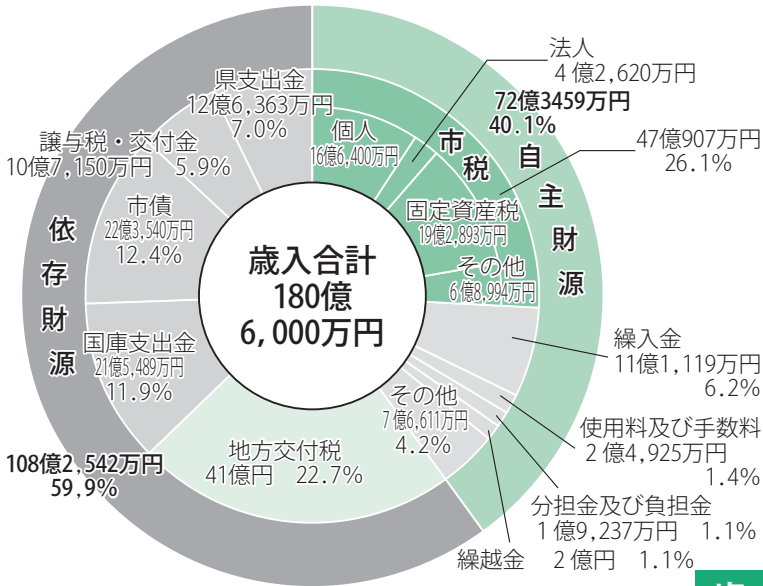
※議会日程の関係から、予算案で掲載しています。

平成28年度の一般会計当初予算は、4月の市長選挙を控えた「骨格予算」となりますが、継続事業や市民生活に密着した事業には、必要な予算措置を講じました。予算額は、新市庁舎等の建設など懸案の重要事業が一段落したことから、前年度に比べて14億9,000万円の減(7.6%の減)となりました。

▼問い合わせ先 財政課 財政係

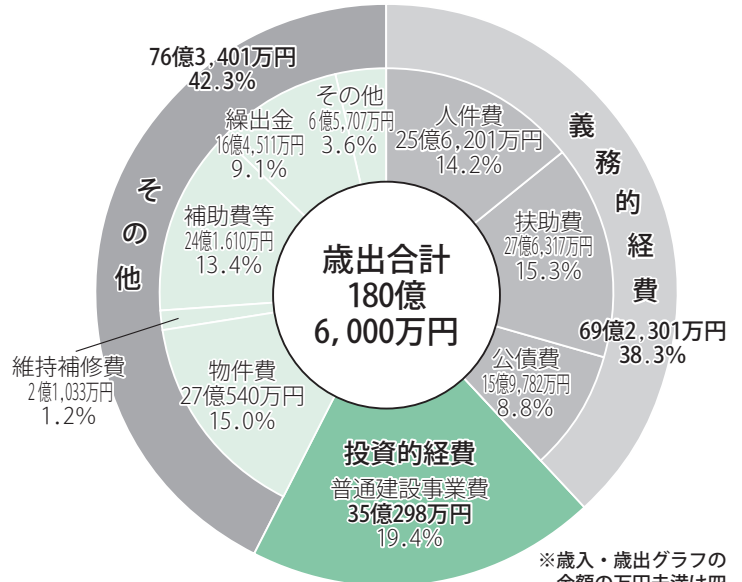
歳入

歳入総額における市税、使用料等の「自主財源」の割合は40.1%、国・県支出金や地方交付税等の「依存財源」の割合は59.9%となっています。



歳出

「子育て・教育」、「環境」、「健康・福祉」、「危機管理・生活基盤整備」、「産業・交流」、「協働」の市の総合計画に掲げられた6つの柱を中心に、事業内容を精査し、限られた財源を効率的に活用する予算編成としました。



※歳入・歳出グラフの金額の万円未満は四捨五入



用語解説

【歳入】

- ◆地方交付税 地方公共団体が等しく事務を行うことができるよう、一定の基準で国が交付するもの
- ◆市債 資金調達のための借入金
- ◆繰入金 特別会計や基金から一般会計に繰り入れるもの

【歳出】

- ◆扶助費 高齢者、児童、生活困窮者等への支援に要する経費
- ◆公債費 市が借り入れた借金(市債)の元金、利子の償還金
- ◆普通建設事業費 道路や橋、公共施設の建設に要する経費
- ◆繰出金 一般会計から特別会計への繰出金



骨格予算？
肉付け予算？

本来、当初予算はその年度のすべての歳入、歳出で編成されるものですが、市長選挙などが行われる年度は、いわゆる「骨格予算」といって、義務的経費(人件費・扶助費・公債費)や継続的事业を中心に最低限必要な経費を計上し、政策的な経費や新規事業などはできるだけ計上しないで編成します。

また、選挙後の補正予算で、首長の意向を反映させた政策的経費や新規事業などを追加することを、いわゆる「肉付け予算」といいます。

